地域・在宅看護論実習Ⅱ

動画配信授業資料

【授業目標】

1.療養者とその家族の生活を支える看護について理解する。
2.在宅療養を支える看護過程および看護技術を理解する。
3.在宅看護を取り巻く社会資源を理解する。

授業までに、資料の１時間目～4 時間目の空欄(　)、※は記入しておいてください。

問題を解いてみましょう は動画授業で解説していきます。

学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1 時間目　◆療養者とその家族の生活を支える看護

1. 地域包括ケアシステム

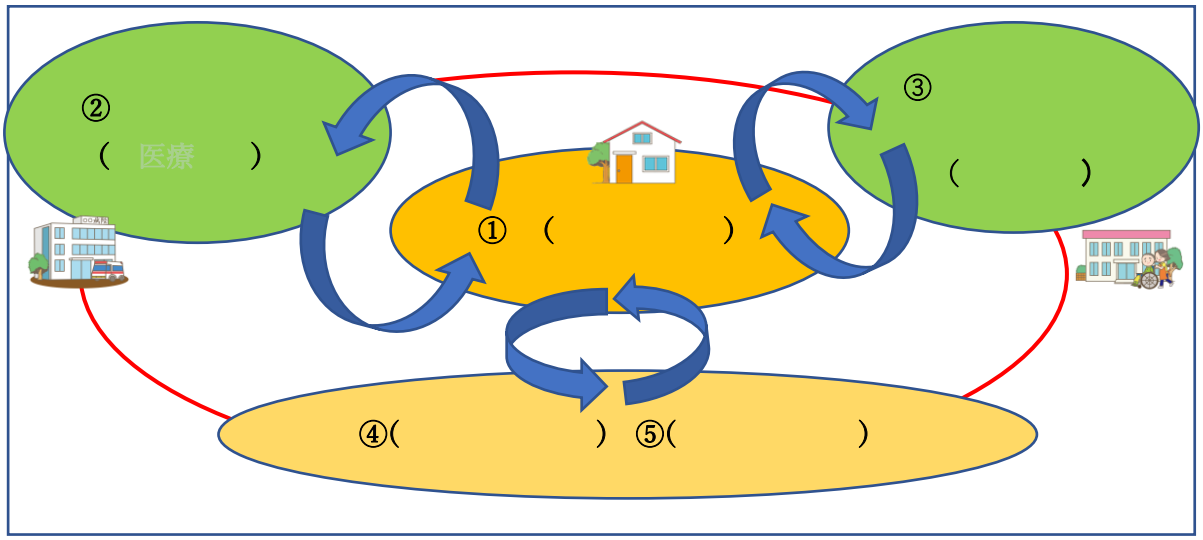
23 巻　P.94～103、オープンセサミ③P.27～29

1）地域包括ケアシステムとは、

・(　　)になっても、(　　)を人生の最後までつづけることができるように、①(　　)、②(　　)、③(　　)、④(　　)、⑤(　　)が(　　)に提供される仕組み。

・地域包括ケアシステムは、(　　)が、(　　)に応じてつくるもの。

・地域包括ケアシステムの姿・・・・・・・イメージ図（**※空欄に語句を記入しましょう**）



問題を解いてみましょう

問 1　地域包括ケアシステムに関する説明として誤っているのはどれか。三つ選べ。

1．地域包括支援センターには、地域課題を把握する役割がある。
2．おおむね 60 分以内の日常生活圏域を単位として想定している。
3．地域における老人クラブや自治会などの活動は含まれない。
4．市町村が中心になって医療・介護機関の連携体制構築をはかる。
5．施設系サービスは含まれない。

解答

2）地域連携クリニカルパス

オープンセサミ③P.29　スタディガイド 2025 P.396

・（　　）は、医療機関と居宅の間で、切れ目のないケアを提供するために提案されている。
・急性期病院から回復期病院等、複数の病院が連携し、早期退院・回復を目指す仕組み。
・診療内容と治療計画、最終ゴール等と診療計画を示すもの。

2.訪問看護の役割と機能

23 巻　P.35～37、P.198～232、オープンセサミ③P.21～26

1）**訪問看護の目的**は、（　　）や（　　）を持つ療養者や家族に対して、住み慣れた地域で包括的な保健、医療、福祉サービスを提供し、健康維持、増進、回復、そして療養者本人が望む終末を迎えることを目的に、個人が目指す生活の質(QOL)を支える活動である。

2）**訪問看護の機能**は、在宅療養者の自立や（　　）を支援し、療養者の心身機能の維持・回復を促し、病状の悪化を予防することである。
同時に介護を担う（　　）の健康や生活にも配慮する必要がある。
具体的には・・・・①療養者の状態・状況に応じた直接的な看護・指導
②環境を整える
③社会資源の活用に関する助言
④多職種・多機関連携
⑤家族支援・助言

3）訪問看護は、（　　）看護の中心となる活動方法である。

問題を解いてみましょう

問 2　訪問看護の機能で適切でないものはどれか。　オープンセサミ③P. 22

1．主治医との連絡調整
2．在宅看護に必要な物品の整備
3．家族員の介護の分担を割り当て
4．症状悪化の防止

解答

問 3　訪問看護制度で正しいのはどれか。　第 108 回 午後 65 問

1．管理栄養士による訪問は保険請求できる。
2．精神科訪問看護は医療保険から給付される。
3．医療処置がなければ訪問看護指示書は不要である。
4．訪問看護事業所の開設には常勤換算で 3 人以上の看護職員が必要である。

解答

3.在宅療養の看護過程

23 巻　P.212～220、24 巻　P.22～31、オープンセサミ③P.5～6

看護過程とは：(　　)

1）情報収集：広い視野で生活環境や家族の状況など、**多角的に収集**
身体的・心理的状況、家族の状況、生活環境など

2）(　　)：収集した情報から、予測される看護上の問題を明らかにし、その対処について検討する。

3）計画立案：看護上の問題を予防、解決、緩和するための目標を設定し、達成時期や具体的方法を、(　　)をつけて立案する。

4）実施：計画に沿った援助を提供。訪問看護では**訪問の度にアセスメント・判断し状況に応じて臨機応変に対応**する。また、**長期的な視点**で対応することも必要。

5）評価：目標達成の程度、実施した援助の適切さ、訪問看護過程全般の見直しを行う。

問題を解いてみましょう

問 4　在宅療養者の訪問看護計画で適切なのはどれか。　第 103 回追試 午前 69 問

1. 計画は修正しない。
2. 初回訪問の印象を重視する。
3. 療養者の合意が必要である。
4. 家族が行っている介護の状況は含めない。

解答

問 5　看護師が行う看護過程で適切なのはどれか。　第 108 回 午後 17 問

1. 問題解決思考である。
2. 医師の指示の下で計画を立てる。
3. 看護師の価値に基づいてゴールを設定する。
4. アセスメント、計画立案、評価の 3 段階で構成される。

解答

2時間目

◆在宅療養生活を支える看護１

１.日常生活を支える看護技術

23 巻　P.255～261、24 巻 P.70～104、オープンセサミ③P.30～42

スタディガイド 2025　P.407～413

※食事・排泄・清潔・移動・呼吸・睡眠について表の「看護ポイント」をまとめましょう。

項目	機能・効果・目的など	**看護のポイント**
食事	生命維持 精神的満足感	
排泄	老廃物の排出	・羞恥心を傷つけないように援助する。 ・できるだけ自然な排泄を促す。 ・残存機能を生かし、自立の方向で援助する。 ・介護負担をできるだけ少なくする。 ・プライバシーの保持、安全性に配慮する。 ・排泄環境の調整
清潔	感染防止 皮膚の新陳代謝・血液循環の促進、精神的安定・爽快感	
移動	身体機能の維持 筋力低下、関節拘縮予防	・移動に関する身体機能のアセスメントの実施 ・住環境のアセスメントを行う。 ・介護者へのボディメカニクスに基づく安全、安楽な技術を指導する。 ・移動補助用具の活用（杖、歩行器、車いす、移動リフト、手すり、トランスファーボード、スライディングシート、プレキシベルト）
呼吸	生命維持	
睡眠	心身の疲労回復	・睡眠の正確なアセスメント（客観的・主観的評価）を行う。 ・療養者の緊張を解き、くつろぎを提供するという姿勢で援助する。

問題を解いてみましょう

問 6　Fowler〈ファウラー〉位で食事を摂るときの姿勢で誤嚥を予防するのはどれか。
第 107 回 午後 17 問

1. 頸部側屈位
2. 頸部前屈位
3. 頸部後屈位
4. 頸部回旋位

解答

問 7　グリセリン浣腸を実施する際、腸管穿孔の危険性が最も高い体位はどれか。
第 102 回 午後 16 問

1. 立　位
2. 側臥位
3. 仰臥位
4. シムス位

解答

問 8　陰部洗浄に使用する湯の温度で最も適切なのはどれか。　第 109 回 午前 17 問

1. 30～31℃
2. 34～35℃
3. 38～39℃
4. 42～43℃

解答

問 9　車椅子による移送で適切なのはどれか。　第 100 回 午後 21 問

1. エレベーターを利用するときは、エレベーターの中で方向転換する。
2. 移乗する前にフットレスト<足のせ台>を上げる。
3. 急な下り坂では前向きに車椅子を進める。
4. 段差は勢いをつけて乗り越える。

解答

問 10　室内空気下での呼吸で、成人の一般的な酸素療法の適応の基準はどれか。
第 112 回 午前 23 問

1. 動脈血酸素分圧〈PaO_2〉60Torr 以上
2. 動脈血酸素分圧〈PaO_2〉60Torr 未満
3. 動脈血二酸化炭素分圧〈$PaCO_2$〉60Torr 以上
4. 動脈血二酸化炭素分圧〈$PaCO_2$〉60Torr 未満

解答

問 11　成人の睡眠で正しいのはどれか。　第 109 回 午前 35 問

1. レム睡眠中は骨格筋が弛緩する。
2. 入眠前の喫煙は睡眠導入時間を短くする。
3. ノンレム睡眠中はエネルギー代謝が亢進する。
4. 睡眠周期は 90 分のレム睡眠と数分のノンレム睡眠を繰り返す。

解答

2.療養を支える看護技術（医療ケア）

1）医療ケアの原理原則

24 巻　P.106～108

（1）目的（自立支援）

・安全かつ療養者の生活の応じた形で、療養者と家族が主体となりながらも医療が継続されること。
・身体的・心理的・社会的自立を見据え、療養者や家族が安全に医療ケアを行うことができるような支援を目指す。

ポイント

①療養者の身体的な状況の観察、医療を取り入れた暮らしに関わる心理的・社会的な状況の観察とアセスメントが必要
②起こりうる合併症やトラブルを予測し、そのサインや緊急度を療養者や家族に伝え、対処策を事前に指導しておく。
③療養者と家族の能力に応じたセルフマネジメント力の維持・向上のための支援を行う。
④医療保険、介護保険、障害者総合支援法に基づく様々なサービスなどの支援や、患者会や家族会の支援も重要
⑤多機関・多職種との連携と資材の調達と管理を行い、安全な医療ケアが継続できるよう支援する。

2）薬物療法

24 巻 P.108～112、オープンセサミ③P.49

在宅医療の場では、薬物療法の場面を直接看護師が観察し、副作用に気づき迅速な対応は難しい。

訪問看護の中で無理なく安全に、適切に行えているかどうかを観察・アセスメントし、療養者や介護者・家族に助言・指導していくことが重要。

ポイント

① (　　)（正しい服薬方法、飲み忘れ、飲み間違い）

② (　　)（冷所、遮光、使用期限）

③ 薬剤の効果の状況、(　　) 出現の有無

問題を解いてみましょう

問 12　独居の高齢者への服薬指導で最も適切なのはどれか。　第 95 回 午前 68 問

1. 薬を曜日、時間別に薬ケースに仕分けする。
2. 冷所保存の薬は冷凍庫に入れて保管する。
3. 飲み忘れた薬は次回にまとめて服用する。
4. 近所の民生委員に服薬確認を依頼する。

解答

3）がん外来化学療法

24 巻　P.113～117

ポイント

① がん外来化学療法の対象者の理解と治療による副反応への対応が必要

② 療養者の生活の場での苦痛や潜在的ニーズを把握し、かかりつけ医や病院看護師、薬剤師などと連携を図りながら症状の軽減につなげる。

問 13　点滴静脈内注射によって抗癌薬を投与している患者の看護で適切なのはどれか。

第 106 回 午前 49 問

1. 悪心は薬で緩和する。
2. 留置針は原則として手背に挿入する。
3. 血管痛がある場合は直ちに留置針を差し替える。
4. 2 回目以降の投与では過敏症の症状の確認は必要ない。

解答

4）在宅酸素療法（Home Oxygen Therapy：HOT）

23 巻　P.265～266、24 巻 P.127～131、オープンセサミ③P.50～53

(1)対象は慢性呼吸不全患者、在宅で酸素吸入を行う治療法

(2)1985（昭和 60）年から**医療保険適用**

(3)使用される装置：

①(　　)　②(　　)

③(　　)　④(　　)

(4)酸素流量は医師の指示を守る。

(5)酸素供給装置は**安全のため火気から２m離して使用**する。

(6)在宅酸素療法では、低酸素血症、CO_2ナルコーシス、呼吸器感染症等に注意が必要

問題を解いてみましょう

問 14　在宅酸素療法について正しいのはどれか。　第 103 回追試 午後 74 問

1. 酸素濃縮器は寝室に常設する。
2. 酸素を吸入しながら入浴できる。
3. 酸素流量は療養者が自覚症状に合わせて調整する。
4. 外出できない療養者には携帯型酸素ボンベは必要ない

解答

5）在宅人工呼吸療法（HMV）

23 巻　P.266～268、24 巻 P.132～137、オープンセサミ③P.53～54

※安全管理の項目を記入しましょう。

	非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）	気管切開下間欠的陽圧換気療法（TPPV）
適　応	急性呼吸不全，慢性呼吸不全	無呼吸状態、自発呼吸が微弱・困難
気管内挿管	なし（マスク）	あり（気管カニューレ）
アセスメント	全身状態の観察、呼吸状態 NPPV 機器の確認、マスク関連のトラブルなど	全身状態の観察、呼吸状態、低酸素血症、利用者・家族の受け止め方、 不安や精神心理状態、支援体制など
安全管理		

療養者家族支援	自己中断の予防 呼吸器合併症の予防	精神的支援 コミュニケーションの工夫 機器の取り扱いや災害時などのトラブルへの対応を指導

問題を解いてみましょう

問 15　気管切開下で人工呼吸器を装着している利用者に対して、訪問看護事業所が災害に備えて行うことで適切なのはどれか。　第 111 回 午前 70 問

1. 人工呼吸器の予備の回路を預かる。
2. 災害時の個別支援マニュアルを作成する。
3. 医療機関から非常用の人工呼吸器を借りる。
4. 事業所内に利用者が避難できる場所を確保する。

解答

6）膀胱留置カテーテル法

23 巻　P.268、24 巻 P.137～141、オープンセサミ③P.55～56

（1）管理上の注意点

①留置カテーテルの固定場所　男性：（　　）
女性：（　　）

② 十分な飲水（水分制限なしであれば 1,500～2,000mL/日が望ましい）

③ 排尿状況の観察――量・色・混濁・混入物

④ 畜尿バックの位置――身体（膀胱）より（　　）位置

⑤ カテーテル固定用バルーンの容量――成人（　　）mL（　　）を入れる

⑥ 感染予防

問題を解いてみましょう

問 16　膀胱留置カテーテルの固定用バルーンに入れるのはどれか。　第 96 回 午前 29 問

1. 水道水
2. エタノール
3. 滅菌蒸留水
4. 滅菌グリセリン

解答

7）ストーマ管理

23 巻　P.269、24 巻 P.142～145

（1）療養者・家族への支援

①皮膚の管理―――ストーマ周囲の皮膚の清潔保持、接触・機械的刺激を避ける。
感染を予防する。

②食事と排泄の管理―――便の状態を見ながら、消化しやすくガス・悪臭を発生させにくい食事や体重のコントロールに留意

(2)社会資源の活用―――身体障害者手帳交付（永久ストーマ)、福祉用具給付
難病法の医療費公費負担（潰瘍性大腸炎、クローン病などの指定難病）

問題を解いてみましょう

問 17　ストーマを造設している寝たきりの在宅高齢者。介護者への皮膚保護シート（ストーマ周囲に装着する皮膚保護材）についての指導で適切なのはどれか。

第 96 回改変 午前 71 問

1. 毎日交換する。
2. 滅菌操作で交換する。
3. 腹壁を伸展させて貼付する。
4. ストーマより小さめにカットする。

解答

8）在宅経管栄養法（HEN）

23 巻　P.270～271、24 巻 P.145～150、オープンセサミ③P.56～58

(1)経管栄養法――― ①経鼻経管栄養（経鼻栄養）　②瘻管栄養（胃瘻栄養等）

(2)経管栄養食――― 成分栄養剤、消化態栄養剤、半消化態栄養剤、半固形化栄養剤

(3)注入時の体位―――（　　）
注入後 1 時間程度はそのままの姿勢が望ましい。(逆流防止のため)

(4)栄養剤の管理――― 栄養剤の調整は清潔な道具を使用
手洗いを十分に行い衛生的に行う。

(5)チューブ内の感染防止――― チューブ内の栄養剤、水分はしっかり洗い流す。

問 18　胃瘻からの経管経腸栄養法を開始した在宅患者の家族に対する説明で正しいのはどれか。

第 101 回 午前 48 問

1. 液状の栄養剤は開封後数日間使用してよい。
2. 栄養剤の注入は無菌操作で行う必要はない。
3. 胃瘻を造設したので経口摂取は禁止となる。
4. 胃瘻カテーテルは週に 1 回交換する。

解答

9）輸液管理

23 巻　P.271～272、24 巻 P.150～155、オープンセサミ③P.58～59

(1)輸液の方法

①（　　）

体外式カテーテル法、皮下埋め込み式カテーテル法、PICC

②（　　）

(2)輸液注入の方法

①持続注入法　　②間欠注入法

(3)薬液管理：

・調剤した薬剤は室温に置くと細菌が増殖するので、できるだけ速やかに投与

・高カロリー輸液は、遮光袋に入れて冷蔵庫保管、混合後 24 時間内に投与終了する。

・冷蔵庫で保管していた場合は、注入 1 時間前に冷蔵庫から出し室温に戻す。

(4)廃棄：使用した針は（　　）などに入れて、医療廃棄物として（　　）に返却する。

(5)療養者・家族への支援

感染やその他の合併症の危険性が高くなるため、手技の習得、栄養・代謝管理が必要となる。介護力や理解度に応じて支援する。

問題を解いてみましょう

問 19　外来で抗癌化学療法を実施していた胃癌の患者に、皮下埋め込み式ポートによる中心静脈栄養法を開始することになった。

患者・家族への指導で正しいのはどれか。　　第 101 回 午後 52 問

1. 入浴は禁止する。
2. 針は 2 週間留置可能である。
3. 注入時刻は、患者の生活に合わせる。
4. 使用済みの針は缶に入れ、市町村の分別ごみに出す。

解答

10）褥瘡管理

23 巻　P.272～274、24 巻 P.155～159、オープンセサミ③P.59～64

褥瘡ケアでは、発生、悪化、再発それぞれの予防が重要。褥瘡の危険因子を除去することが大切である。

(1)ブレーデンの褥瘡発生の概念図　　24 巻 P.156　図 4.13－1

図7.3-6　ブレーデンの褥瘡発生の概念図

(2)ブレーデン・スケール　　オープンセサミ③P.60　表参照

褥瘡発生の危険度を予測・評価する方法として、一般的に用いられている。

最低 6 点、最高 23 点、点数が低いほど褥瘡発生率が（　　）

(3)褥瘡の予防

①体位変換

② 除圧用具（エアーマット・フローテーションパッド・ムートン・小枕）の使用

③ スキンケア（皮膚の清潔保持、皮膚の状態観察など）

問題を解いてみましょう

問 20　褥瘡発生の予測に用いるのはどれか。　　第 95 回 午前 106 問

1. バーセル・インデックス
2. ブレーデン・スケール
3. グラスゴー・コーマ・スケール
4. カッツ・インデックス

解答

11）インスリン自己注射

24 巻 P.165～170

(1)対象者は：（　　）

(2)インスリン製剤の管理

①使用中の製剤は室温（　　）℃保管、直射日光・高温・凍結に注意

②未使用の製剤は（　　）保管

(3)血糖自己測定

日常の血糖値を把握し、より良い血糖コントロールをすることが目的

(4)自己注射のトラブル・対処

①低血糖：出現時に摂取するブドウ糖などの必要量を医師に確認し準備しておく。
外出先での低血糖に備え緊急連絡用カードを携帯する。

②(　　)：糖尿病の治療中に発熱や下痢、嘔吐、食欲不振などで食事ができない状態→ 主治医に連絡し指示を受けるよう指導

問 21　A さん（78 歳）は、妻（76 歳）と 2 人で暮らしている。糖尿病と診断されている。認知症ではない。主治医の指示で、インスリン自己注射を指導するために訪問看護が導入された。A さんは「針が怖いから、看護師さんが注射をしてください」と言う。A さんへの訪問看護師の対応で適切なのはどれか。　　第 102 回 午後 54 問

1. 「針は細いので怖くないです」
2. 「一緒に少しずつやっていきましょう」
3. 「注射ができないと家での療養は難しくなります」
4. 「そうですね。A さんも奥さんもしなくていいです」

解答

3時間目　◆在宅療養生活を支える看護２

１.事例に応じた看護

１）　筋萎縮性側索硬化症（ALS）

23 巻　P.246～249、３巻 P.216

（1）在宅療養の環境整備

※利用できるサービスや社会資源にはどのようなものがありますか。

医療保険―

介護保険―

障害者総合支援法―

経済的支援ー

※連携する医療福祉関係職種は？

(2)災害時や緊急時の対応

※急変時の対応について家族への助言・指導する内容はどのようなことか。

※災害時や停電時の対応はどのようなことか。

(3)在宅療養で利用可能な制度

医療費：指定難病医療費助成、高額療養費支給制度、身体障害者手帳による障害者医療費助成制度、介護保険制度（40 歳以上であれば第２号被保険者）

問題を解いてみましょう

問 22　A さん（45 歳、女性）は、筋萎縮性側索硬化症〈ALS〉のため自宅で療養中である。A さんは球麻痺症状が出現したため、経口摂取に加え、胃瘻による経管経腸栄養管理が開始された。　第 103 回 午前 75 問

訪問看護師が行う A さんと A さんの家族への指導で適切なのはどれか。

1. 水分は経口による摂取を勧める。
2. 注入時間に生活パターンを合わせる。
3. 経口摂取中の体位は頸部前屈位とする。
4. 胃瘻からの半固形化栄養剤の使用は禁止する。

解答

2）認知症

24 巻 P.210～212、オープンセサミ③P.44～45、127～135

23 巻 P.62　表 2.1-4　オープンセサミ③P.76

(1)**認知症高齢者の日常生活自立度判定基準**

ランクⅠ～ランクⅯ　　再確認しましょう。

(2)対応

①行動・心理症状（PTSD）に対する不適切な対応は混乱を招くので、受容の態度で自尊心を傷付けないようにする。

②事実誤認は訂正せず、叱らず柔軟に対応する。

③介護負担を抱える介護者への支援：話をよく聴き、相談にのる。健康管理に留意

④保健福祉サービスの紹介・導入

問題を解いてみましょう

問 23　認知症患者とのコミュニケーションで適切なのはどれか。　第 96 回 午前 112 問

1. 母親が幼児と接するように話す。
2. 作話があるときは内容を訂正する。
3. 興奮状態の時は安全を確認して一旦席をはずす。
4. 同じ内容を繰り返す場合は会話をすぐに打ち切る。

解答

3）終末期

24 巻 P.239～241、オープンセサミ③P.46～48

(1)苦痛の緩和：あらゆる工夫をして援助する。

①疼痛緩和（薬物コントロール、罨法、マッサージなど）

②気分転換（散歩、部屋の模様替えなど環境や雰囲気を少しでも明るく）

③不安の軽減

(2)日常生活の援助

①身体の清潔（入浴、洗髪、手浴、足浴）

②経口摂取（嗜好を考慮、誤嚥に注意）

③排泄の援助（便秘になりやすい、医師の指示で緩下剤や浣腸）

④睡眠の援助（足浴やマッサージなどで入眠への援助を行う）

⑤安楽な体位

(3)医師との連携：昼夜を問わず、医師による往診が可能であること

●在宅療養支援診療所－24 時間 365 日体制の対応、緊急時の受け入れ、または、連携医療機関への入院手配の確保などが要件（厚生労働省地方厚生局に届出を行っている医療機関）

問題を解いてみましょう

問 24　終末期の癌患者の在宅ケアで正しいのはどれか。**2 つ選べ**。　第 101 回 午後 87 問

1. 家族の悲嘆のケアも含まれる。
2. 訪問看護は介護保険の適用である。
3. 夜間・休日を含めた連絡体制を整える。
4. ADL が自立している患者は対象とならない。
5. 主治医は在宅療養支援診療所の医師に限られる。

解答

4）**医療的ケア児**

参考：24 巻 P.242～243、P.255

2021（令和 3）年

「医療的ケア児及びその家族に対する支援の関する法律（医療的ケア児支援法)」成立

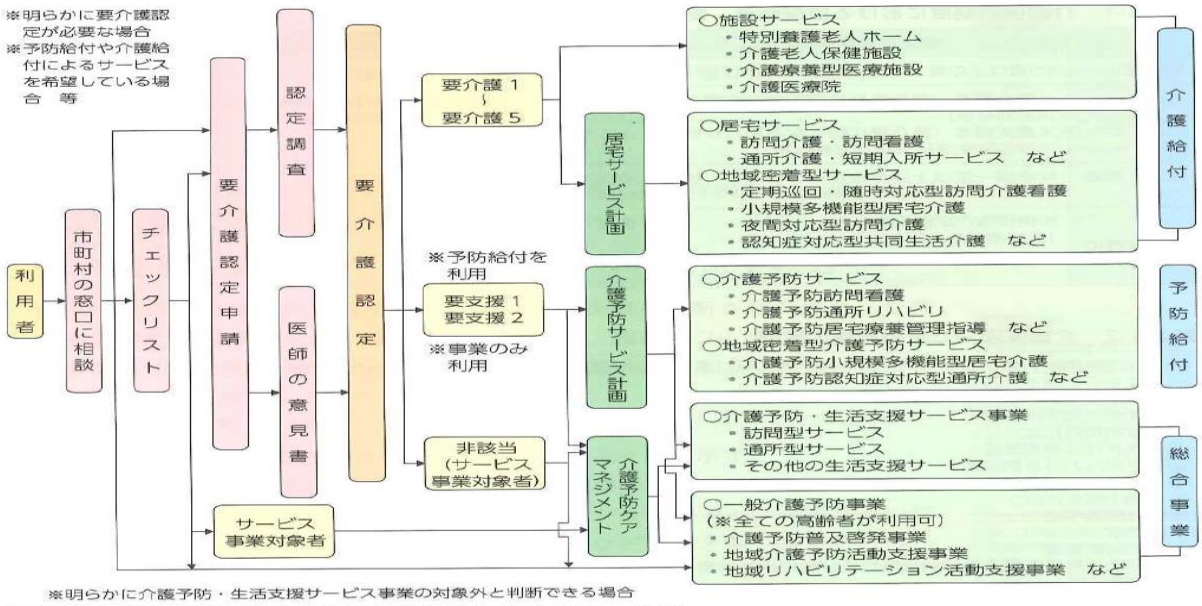
医療的ケア児とは：日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケア※を受けることが不可欠である児童をいう。

※「医療的ケア」とは、人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為を指す。

2.社会資源

1）介護保険関係のサービス体系

23 巻 P.152　図 4.4-2、オープンセサミ⑤P.17～22

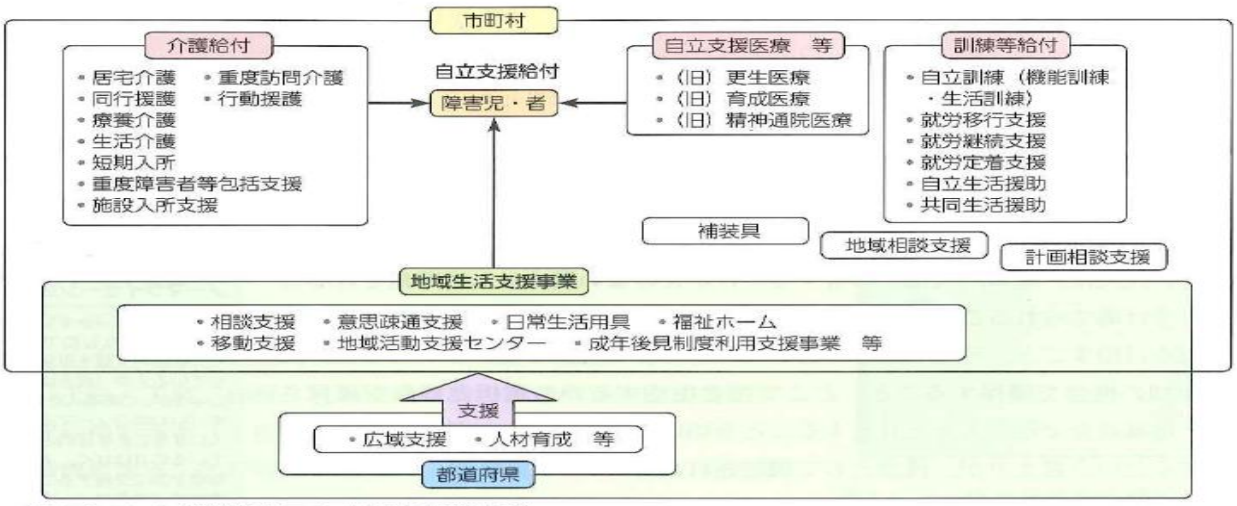


厚生労働省．公的介護保険制度の現状と今後の役割：平成30年度，2017．一部改変．
https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12300000-Roukenkyoku/0000213177.pdf，（参照2023-12-05）．

図4.4-2　介護保険制度における要介護認定と介護サービス計画の作成

2）障害福祉関係のサービス体系

23 巻 P.168　図 4.6-5、オープンセサミ⑤P.40～43



＊自立支援医療のうち旧精神通院医療の実施主体は都道府県等．
厚生労働省．新たな障害福祉サービスの体系．一部改変．https://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/jiritsushienhou02/3.html，（参照2023-12-05）．

図4.6-5　障害者総合支援法における総合的なサービスの体系

3）福祉用具と補装具・日常生活用具

23 巻 P.154 ～155、　表 4.4-5、23 巻 P.171　表 4.6-6

(1)介護保険

福祉用具貸与：歩行器、歩行補助杖など

（要介護２以上）車いす、特殊寝台、床ずれ防止用具など
居宅介護福祉用具購入費（特定福祉用具の購入）：腰掛便座、入浴補助具など

(2)障害者
補装具：
義肢、装具、座位保持装置、盲人安全杖、義眼、眼鏡、補聴器、車いす、電動いす、歩行器、歩行補助杖、重度障害者用意思伝達装置
（身体障害児のみ）座位保持椅子、起立保持具、頭部保持具、排便補助具
日常生活用具（厚生労働大臣が定める市町村が行う地域生活支援事業の必須事業対象用具）

※それぞれにどのようなものがあるか記入しましょう。

① 介護・訓練支援用具　（　　）
② 自立生活支援用具　（　　）
③ 在宅療養等支援用具　（　　）
④ 情報・意思疎通支援用具　（　　）
⑤ 排泄管理支援用具　（　　）
⑥ 居宅生活動作補助用具　（　　）

4) 介護保険と障害福祉サービスの調整
23 巻　P.171～172

(1)介護保険制度と障害者総合支援法の両方で受給資格がある場合
→　原則として（　　）が優先となる。
介護保険サービスの利用が区分支給限度基準額を超える場合は市町村の判断により、障害福祉サービスを上乗せ利用できる場合もある。

(2)共生型サービス
高齢になった障害者が障害福祉から介護保険に円滑に移行できるよう、高齢者と障害者が同じ施設でサービスがうけられるサービス。

問題を解いてみましょう

問 25　介護保険サービスを利用して購入できるのはどれか。　第 112 回 午後 81 問
1. 簡易浴槽
2. 特殊寝台
3. 体位変換器
4. 移動用リフト
5. 取り付け工事を伴わないスロープ

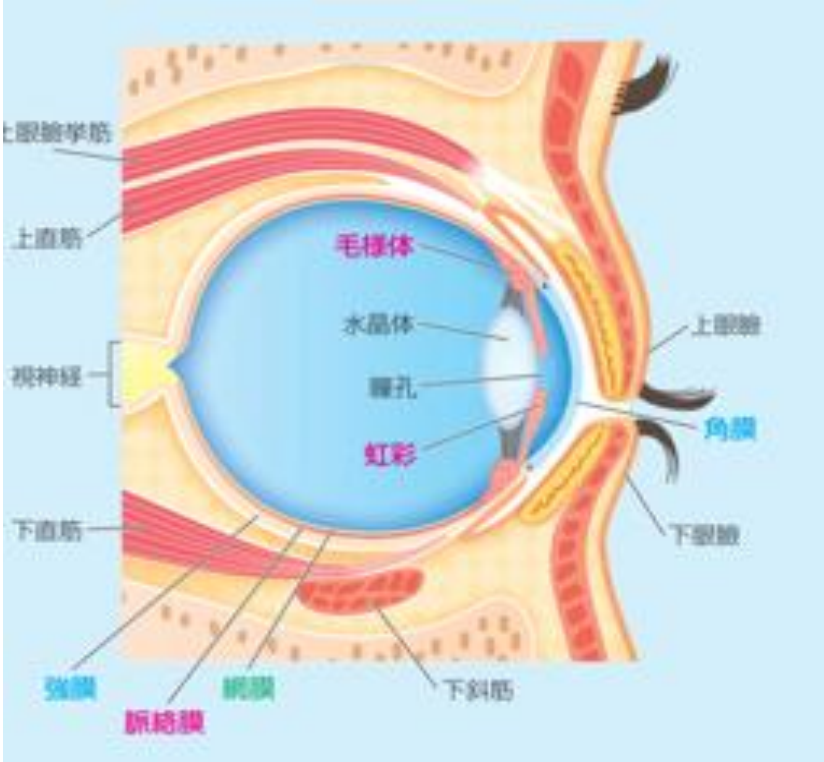
解答

４時間目

◆感覚器系を学ぶ

スタディガイド 2025　P.1004～1009

１．　視覚器



・眼球は直径約（　　）mmの球形の器官。
内部には眼房水、（　　）、（　　）などが含まれる。
・眼球壁の内層は（　　）、（　　）および(　　)からなり、血管が分布している。
・瞳孔の散大には（　　）が関与している。

２.平衡感覚器

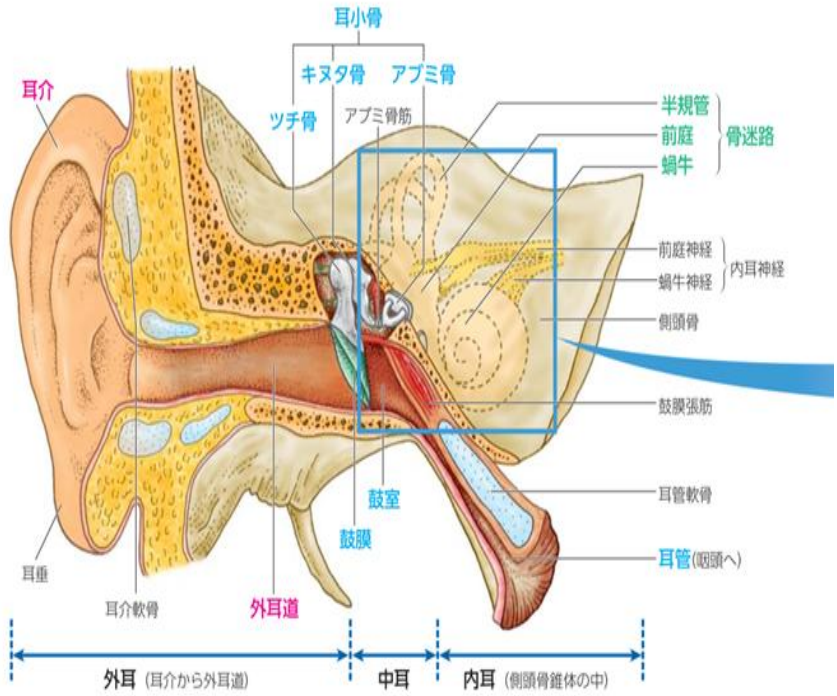
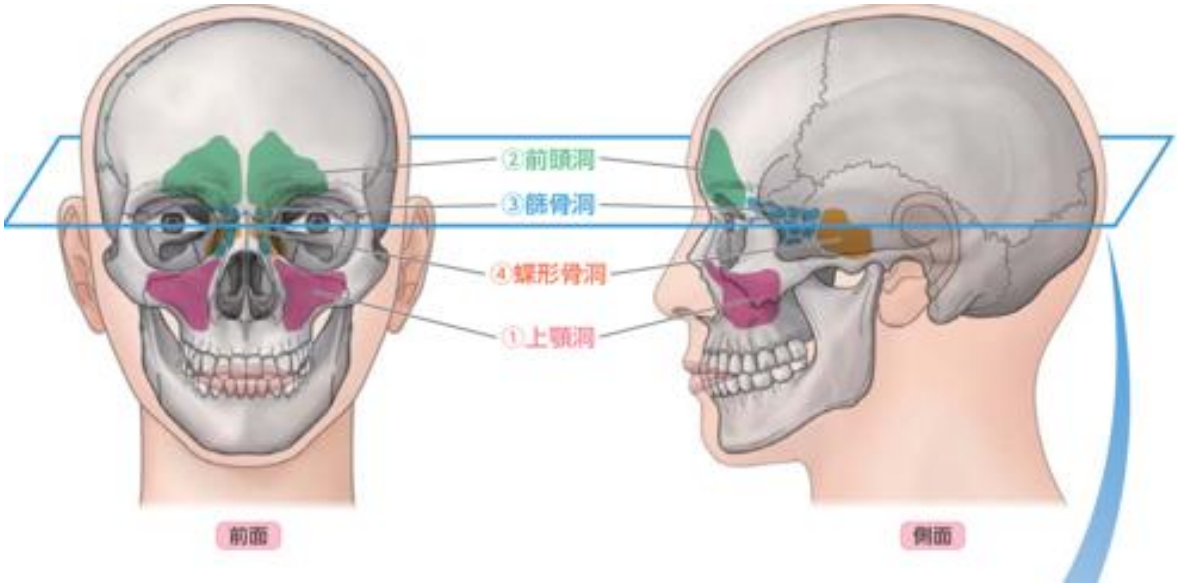


図9-18 外耳・中耳・内耳の構造

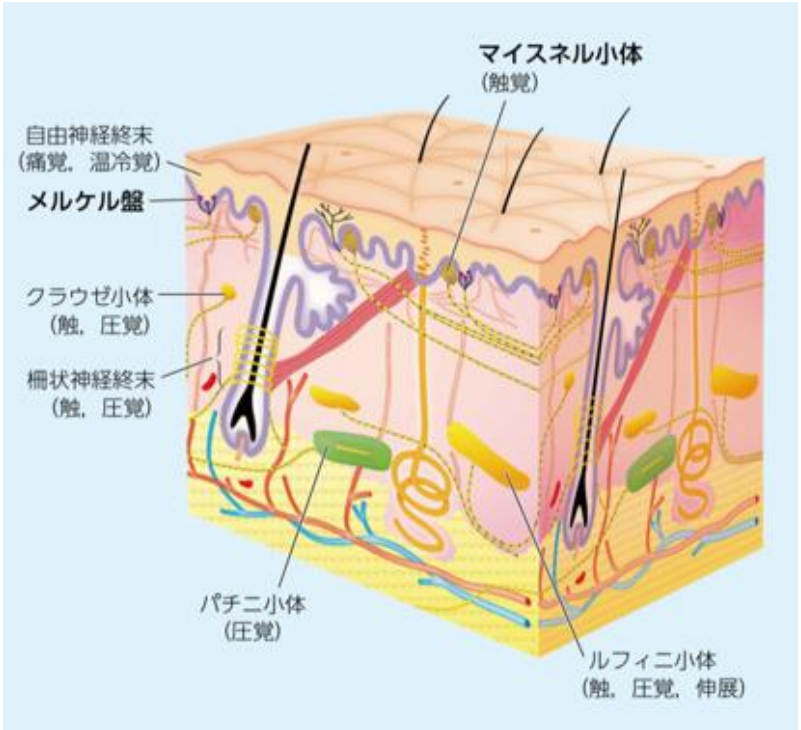
・平衡感覚器は
（　　）、（　　）および
（　　）から構成される。
・外耳道の長さは約
（　　）ｃｍ。
・中耳は咽頭とつながっている。
・内耳は膜迷路で
（　　）、（　　）、
（　　）とその周囲を囲む骨迷路からできている。

３.嗅覚器

・鼻腔は（　　）、（　　）、（　　）に分けられる。
・嗅細胞を含む粘膜上皮は（　　）という。
・嗅細胞の突起は集まって（　　）をつくり、篩骨篩板の孔を通り信号を嗅覚の一次中枢である（　　）に送る。
・鼻腔の周辺には４つの副鼻腔（　　）洞、（　　）洞、（　　）洞、（　　）洞と呼ばれる空洞がある。



４.体性感覚器



体性感覚とは：運動器と全身の皮膚により感じ取られる感覚
運動感覚、位置感覚、温覚、冷覚、触覚、圧覚、痛覚などがある。
痛覚は順応しにくい感覚である。
・皮膚は、表面から順に
（　　）、（　　）、
（　　）の３層で構成されている。
・表皮は（　　）上皮で、いくつかの層に分けられる。

体性感覚

問 26　最も**順応しにくい**のはどれか。　　第 106 回 午前 73 問

1. 視　覚
2. 嗅　覚
3. 味　覚
4. 触　覚
5. 痛　覚

解答

視覚

問 27　眼球内での光の通路に関与するのはどれか。**2 つ選べ**。　　第 106 回 午後 74 問

1. 強　膜
2. 脈絡膜
3. 毛様体
4. 硝子体
5. 水晶体

解答

聴覚

問 28　中耳にあるのはどれか。　　第 102 回 午前 26 問

1. 前　庭
2. 蝸　牛
3. 半規管
4. 耳小骨

解答

平衡感覚

問 29　角加速度を感知するのはどれか。　　第 106 回 午前 27 問

1. 耳　管
2. 前　庭
3. 耳小骨
4. 半規管

解答

味覚

問 30　味覚について正しいのはどれか。　　第 107 回 午後 26 問

1. 基本味は 5 つである。
2. 外転神経が支配する。
3. 冷たい物ほど味が濃いと感じる。
4. 1 つの味蕾は 1 種類の基本味を知覚する。

解答

◆呼吸器系を学ぶ

スタディガイド 2025　P.504～554

1.呼吸とは

生体に（　　）を取り入れ、（　　）を排出することである。

・1 回換気量：1 回の吸気で、肺胞に入る吸気の容積　　成人は約（　　）mL

・（　　）：肺胞で行うガス交換

・（　　）：全身の組織で行うガス交換

・（　　）：延髄にあり、延髄の腹側部と背側部に存在する。

2.肺癌と喫煙

・肺門部に発生する肺癌は喫煙が大きく関与する。

・ブリンクマン指数：喫煙（　　）×（　　）日の喫煙本数

400 以上で肺癌危険群、600 以上で肺癌高度危険群

3.呼吸不全

・呼吸不全：室内気で、動脈血酸素分圧（$Pa0_2$）が（　　）Torr 以下になる状態であり、（　　）が正常（45mmHg 以下）の Ⅰ 型呼吸不全と、二酸化炭素分圧が上昇する（45mmHg を超える）のⅡ型呼吸不全がある。

問題を解いてみましょう

問 31　全肺気量の計算式を示す。　肺活量＋（　）＝全肺気量　　（　）に入るのはどれか。

第 101 回 午後 27 問

1. 残気量
2. 予備吸気量
3. 1 回換気量
4. 予備呼気量

解答

問 32　呼吸不全について正しいのはどれか。　第 107 回 午後 28 問

1. 喘息の重積発作によって慢性呼吸不全になる。
2. 動脈血酸素分圧〈PaO_2〉で 2 つの型に分類される。
3. 動脈血二酸化炭素分圧〈$PaCO_2$〉が 60mmHg 以下をいう。
4. Hugh-Jones〈ヒュー・ジョーンズ〉分類は呼吸困難の程度を表す。

解答

問 33　A さん（57 歳、男性）は、妻（50 歳）と 2 人で暮らしている。21 歳から喫煙習慣があり、5 年前に風邪で受診した際に肺気腫と診断された。最近は坂道や階段を昇ると息切れを自覚するようになってきた。

A さんの呼吸機能に関する数値で増加を示すのはどれか。　第 113 回 午前 94 問

1. 1 秒率
2. 残気量
3. 1 回換気量
4. 動脈血酸素分圧〈PaO_2〉(room air)

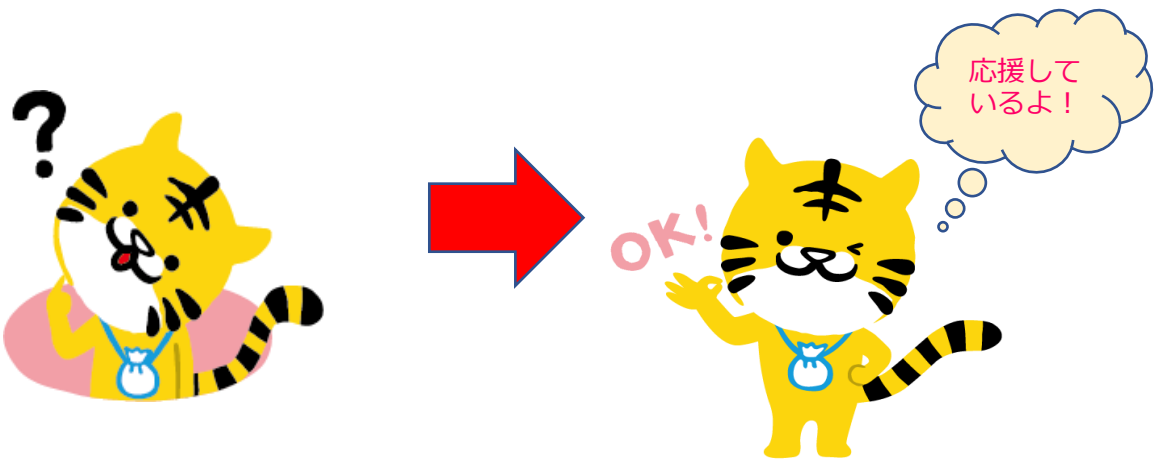
解答

●最後に

感覚器系

スタディガイド 2025　P.1047　「ここだけは覚えておこう」

呼吸器系

スタディガイド 2025　P.553～554　「ここだけは覚えておこう」

などで再確認してポイントを覚えましょう。